

(2)「ネットワーク型評価の新しい適用手法 CSA の提案」

中西昌武 (名古屋経済大学)

ANP における評価要因クラスの評価合成を適切にできないという弱点を克服した新しい評価合成モデル「比較構造分析法 (CSA)」を提案した。評価行列を非負列和 1 行列に変換する事によって従来の AHP, ANP, 提案された様々な手法をサブシステムとする全体評価システムを構成する事ができることを示した。

○ OR/MS とシステムマネジメント ○

・第 1 回

日 時：6 月 8 日 (土) 13:30~16:30

出席者：23 名

場 所：三菱総合研究所 2 階大会議室

テーマと講師：

「情報技術による価値創造」

国領二郎 (慶応大学ビジネススクール)

講演は、ネットワーク社会における構造変化について、①供給システムの構造変革、②参加型の価値創造システム、③情報価値の収益化、④新しいビジネスモデルの創造、⑤新しい社会経済構造の構築という視点から行われた。「情報は利益を生むのか」など活発な質疑応答が行われた。

○ 評価の OR ○

・第 14 回

日 時：6 月 15 日 (土) 13:30~16:00

出席者：14 名

場 所：政策研究大学院大学

テーマと講師：

(1)「Context-dependent DEA」

Joe ZHU (Worcester Polytechnic Institute)

最良フロンティア上の DMU 群をレベル 1, それらを除外した下でのフロンティア上の DMU 群をレベル 2, 以下同様にレベル 3, 4, 5... と DMU 群を層状に分類し、あるレベルの DMU と他レベルのフロンティアの間の相対的効率値を測定する「Context-dependent DEA」を提案した。

(2)「A Strange Case of the Cost and Allocative Efficiencies in DEA」

刀根 薫 (政策研究大学院大学)

入力項目数 1 の場合には、技術効率値とコスト効率値が常に等しく、入力項目数が 1 以上の一般的な場合も、同一の入出力データ値を持つ 2 つの DMU のコストベクトルが比例関係にあるとコスト効率値が等しくなる等、既存のコスト効率性ならびに配分効率性の不可思議な点を指摘し、これを克服する新しい DEA 枠組を提案した。

---

会 合 記 録

6 月 10 日 (月)

基本問題検討委員会

10 名

---